

樹木の根上がりでお困りでは？

歩道・公園・駐車場の維持管理に朗報！



街路樹の「根上がり」



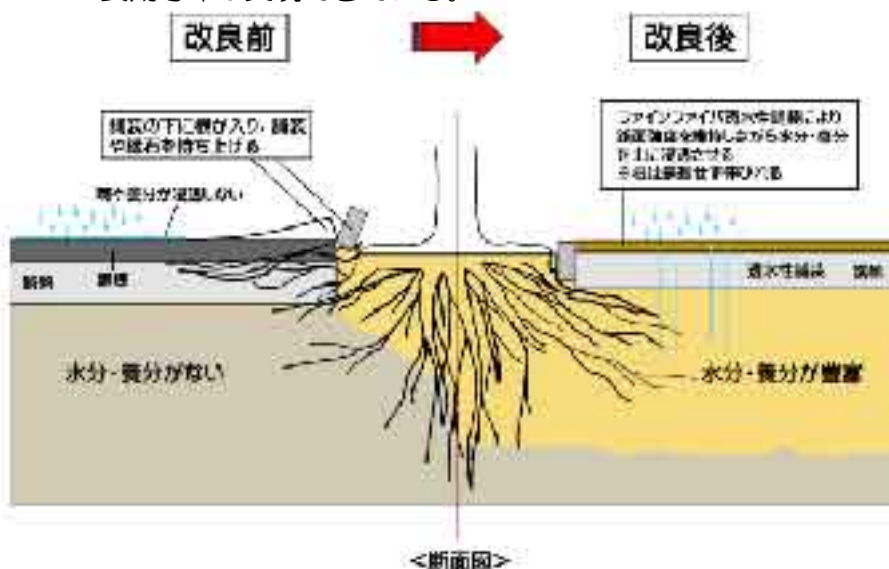
街路樹が生長するにつれて根が太くなることで、根が歩道の縁石や舗装を持ち上げ、歩道がでこぼこになる「根上がり」が起こります。
そのため歩行者、特に年寄りや車いす・ベビーカーの通行に支障をきたす状況となり、各地で問題になっています。
これまでの舗装改修では、単純に根を切った後、舗装だけを打ち換える方法で行っていましたが、この方法では街路樹を弱らせ、最悪の場合は枯らしたりすることで倒木の危険性もありました。そして生育したとしても数年後には再び根上がりする事もあります。

なぜ「根上がり」が起きるの？

歩道は、路面が壊れないようにアスファルト等の路盤材からつくられています。街路樹は空気と水を取り込むために根を伸ばそうとしますが、路面材が蓋する形となり、空気と水、養分が不足しているので、なかなか生育することができません。そこで樹木は、少しでも空気と水がある部分、地面の上の方や、縁石沿いに根を伸ばし、太くなって舗装や縁石を押し上げます。

対策方法は？

ファインファイバによる透水性舗装で歩道下の土に雨水を浸透させることにより樹木の根が水分と空気、養分の求め方本来の形に戻り自然な伸び方になる。路面の景観も良く町並み形成において優れている。また、繊維化合バインダにはずば抜けた強度と耐久性を保ち続けられ、長期寿命が実現できている。



地中の水分が蒸発して路面により遮断されて溜まったわずかな水分を求め根が来ている